

NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

2016年度 事業計画書

2016年1月1日から2016年12月31日まで

1. 2016年度の事業実施方針

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン（FTCJ）は、FTCJのミッションの1つである『子どもは世界を変える力がない』という考えから子どもを解放する」を達成するために、全国規模での学校や地域での出張講演や、ファンリテーター養成講座及び、日本とカナダで開催するリーダーシップトレーニングキャンプを通じて、子どもや若者の活動家を育てる育成事業に注力します。同時に、フィリピンやインドの支援先を訪問し現地の子どもと触れあい交流しながらボランティアを体験するスタディツアーの開催を計画し、子どもや若者が主体的に社会問題に取り組む環境作りに、しっかりと努めます。そのために、子ども活動応援事業や出張講演事業を担うスタッフとして、学生時代からFTCJの活動に従事し、カナダのFTC Internationalでの1年間のインターンや、企業で経験を培った伊藤菜々美を新たなスタッフとして迎えます。また、国際理解教育や人権教育などでご活用いただけるような教材や、子どもや若者が主体的に社会問題に取り組むための情報を学べるような書籍を新たに開発し、より多くの子どもや若者が国際問題や国内の社会問題、子どもの権利について知識を増やし理解を深められるような環境作りに取り組みます。

FTCJのもう1つのミッション「貧困や児童労働から子どもを解放する」を実現するため海外自立支援事業として、今年度4月から「フィリピン未就学視覚障害者教育支援事業」を立ち上げ新しく取り組みます。フィリピンに限らず開発途上国で共通にみられる課題として、障害者の存在が把握されず社会参加できていないという状況があります。フィリピン教育省によると、就学年齢に達している子どもの初等教育就学率は95パーセントであるにも関わらず、視覚障害児あ就学率はわずか5パーセント以下だと言われています。この様な状況を改善するため、FTCJではフィリピン大学と協働で5年後にフィリピン大学附属盲学校の建設を目指します。学生時代にFTCJメンバーとなってフィリピンへのスタディツアーに参加したことがきっかけで、フィリピンの視覚障害者未就学問題について研究を重ねてきた、石田由香理を今年度4月より本事業の主担当として迎えます。彼女自身も全盲なので、教育を受け自立する視覚障害者として自らの経験を活かしながらフィリピンの障害者をエンパワーメントします。

その他、トレンドとなっているエシカルファッション（環境や人権を守りながら開発されたファッションアイテム）についての情報を発信し、フェアトレード（エシカルファッションアイテム）の輸入や販路開拓にも注力したいと考えています。そのためにスタッフの河本千夏の海外研修への派遣を計画しています。

組織：運営体制としては、代表理事の中島早苗が去年に引き続き関西に住居があることや、事務局長の原元望が育休中なので、2015年度から継続して在宅勤務の環境整備に取り組み、労務環境の改善と体制づくりを強化し、スタッフひとりひとりが働きやすい環境づくりを目指します。

▼2016年度は、以下のことに重点的に取り組みます。

1. 全国規模での出張講演及び、キャンプやスタディツアーなど合宿型活動家応援事業の実施、新たな教材開発や書籍出版を通じ、より多くの子どもや若者がより良い社会に向け自らが声を上げられる機縁と環境を創る。
2. UP（フィリピン大学）と連携しながら、フィリピンでの未就学視覚障害者教育支援事業を展開するために1年目の今年度は未就学視覚障害者の状況調査と障害者への理解や教育の重要性を伝えるセミナーを実施する。
3. 2015年度に行った育児介護休業規定と改訂版職業規定内容の実現のため、2015年より継続して事務局体制強化を行う。

以上、FTCJの2つのミッションの実現に向け、理事及び事務局一同が一丸となって気持ちを新たに、業務に取り組んでいきますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

代表理事 中島 早苗

2. 事業の実施に関する計画

(1) 子ども主体事業：担当→子ども代表委員による企画

活動名	活動内容	受益対象者の範囲 及び人数
子ども企画活動	2016年度の子ども代表委員によって企画運営します。全国の子どもメンバーがより活発に良い活動し、子どもメンバー間で情報交換や交流を深めるための活動を企画していきます。	全国の子どもメンバー 800人

(2) 子ども活動応援事業

活動名	活動内容	受益対象者の範囲 及び人数
子ども活動家育成	子どもユースを対象にしたリーダーシップトレーニング「Take Action Camp」の開催。 Take Action Campとは・・・ 子どもや若者が社会問題を知り、その解決に向けてアクションをおこすためのノウハウを学び、自分に何ができるかを考えるための合宿型育成研修イベント 【日本】夏休み中に5日間で実施予定 【カナダ】トロントにて1週間～2週間のコースで実施予定	子ども・ユースメンバー 80人
子どもメンバー活動サポート	①子どもメンバーなどで構成される活動チームの育成、サポートを実施。 チーム種類：現在4つのチームが活動中。2016年度はチームサポートの方法も改善する。 ・チョコレートプロジェクト：チョコを通じた海外支援のための資金調達活動するチーム ・アンバサダー：FTCJを代表するスピーカーとなって講演をしたりワークショップをしたりするチーム ・募金：定期的にFTCJの活動紹介をしながら募金活動をするチーム ・イベント：様々なイベントを企画し運営し、FTCJの活動を伝えていくチーム	チームに所属する子どもメンバー約200人
	②学校や地域のグループ活動のサポート 各地の学校・グループの活動をサポートする体制を整える。特にWEBサイトの充実を図る。	全国の子どもメンバー 500人
	③子ども主体事業へのサポート 子ども代表委員主導による企画へのサポート)	子ども代表委員
	④メンバーからの質問、要望、活動へのサポート 毎月の活動ヒント講座、子どもメンバーからの質問対応、情報提供など また、子どもが活動しやすい会員制度の検討	全国の子どもメンバー 800人
	⑤季節に合わせたキャンペーンキットの作成・提案	子どもメンバー及び 学校関係者
国内の子ども支援	【国内の子ども支援】 国内の子どもの貧困問題、いじめ問題など国内の子どもを対象にした支援の方法について調査を開始する。いじめ問題をテーマとしたワークショップ開発し、各地の学校で実施する。	日本で困難な状況にある子ども

(3) 外部ネットワーク事業：

活動名	活動内容	受益対象者の範囲及び人数
外部ネットワーク構築	①CL-Net(児童労働ネットワーク)・NGO労組協働フォーラムへの運営委員参加と事業実施 ②日比NGOネットワーク(JPN)への役員としての運営と事業実施 ③JNNE(途上国の子ども教育支援事業NGOのネットワーク)への参加と事業実施 ④JANIC、DEARなど他組織への会員になって他団体と繋がって活動する。 ⑤世田谷区との連携事業の実施を計画する。 ⑥関西でのNGO/NPOネットワークへの参加(子どもの権利条約フォーラム大阪含む)	子どもの権利を侵害されている開発途上国及び国内の子ども

(4) アドボカシー(啓発)事業

活動名	活動内容	受益対象者の範囲及び人数
メンバー育成講座	ファシリテーター養成プログラム、FTCJ国際アカデミーなどを実施し、メンバーを育成する。 ファシリテーター講座では大学生・高校生をファシリテーターとして育成し、学校での出張ワークショップに派遣する。	メンバー100人
スピーカー派遣	① 田谷区での出張ワークショップの実施 世田谷区内の公立の小・中・高校にて、地域や社会の問題に目を向け、アクションをおこすための出張ワークショップの実施。(育成したファシリテーターが担当予定) ②全国出張講演 国際協力や国際理解教育に関心のある学校からの要請を受け、出張講演を実施する。(主に私立の学校を対象とし、スタッフが出張講演を担当する) 2016年度目標:80校での実施を目指す。 ③教員対象講演会実施 新刊図書「キッズスピーチ」活用して、教員向けのセミナーや講演会を実施する。	子ども・一般:7000人 教員:100人
教材開発	① 子どもの権利や世界の貧困下にいる子どもの現状について考えるワークショップ教材の開発 ② キッズスピーチ副教材開発	国内の子ども・教員 10,000人
イベント	他団体主催によるイベントへの参加及びFTCJ主催イベントの開催:パネル展示、動画上映、スピーチなどを通して、権利を奪われた子どもの現状や団体活動紹介をする。同時に可能であれば物販活動も行う。 予定)グローバルフェスタ、メーデー中央大会、ワン・ワールド・フェスティバルなど	10,000人
メールマガジン ニュースレター アニュアルレポートの 発行	①メールマガジンを毎月2回発行する。 ②ニュースレター(年3回)を発行する ③ ニュアルレポート(年1回)を発行する。(各600部)	2,500人
ホームページの開 設運営	①ホームページのリニューアル作業、更新。 ②サーバー管理	子ども、一般
物販・貸出	貧困層の自立につながるフェアトレード商品や国際理解教育教材(DVD)や書籍などの仕入れ、紹介、販売、管理を行う。また店舗での委託販売先の開拓も開始する。 2015年度目標:収益200万円を目指す	海外支援の子ども、日本の子ども・一般
出版	Take Action日本語版の出版 社会問題に取り組むための子どもや若者向けの手引書となるような書籍の執筆、出版	子ども、一般

(5) 海外自立支援事業

活動名		活動実施内容	受益対象者の 範囲及 び人数
インド	CCD 支援	西ベンガル州コルカタ付近にある現地 NGO・CCD を通じて「マクタニール子どもの家」(養護施設)で生活する元ストリートチルドレンなどの貧困家庭出身の子どもたちや貧困コミュニティへ教育支援や健康支援事業を行う。また日本の支援者と受益者の子どもと手紙を通じた交流「文通プログラム」を運営する。	40 人
	FTC ネットワーク活動	ラジャスタン州ウダイプール周辺の貧困農村地域を対象に、教育支援、水源確保、栄養強化及び健康向上、農民の収入向上支援を行い、農村の生活環境向上と、子ども達の教育へ充実を図る。	3,000 人
フィリピン	ミンダナオ島コミュニティ自立支援	ミンダナオ島内の先住民族ディババラン・コミュニティの子どもへの奨学金を通じた教育支援や、子どもや若者への防災や健康、保健、ディババランの文化を継承するワークショップを通じて自立支援事業を行う。また日本の支援者と受益者の子どもと手紙を通じた交流「文通プログラム」を運営する。	120 人
	その他貧困地域支援	フィリピンの支援が必要な貧困地域のニーズをもとに、現地パートナー団体と協働し、教育、保健、水、収入向上の側面から地域の自立に向けた支援活動を行う。2016年度はレイテ島オルモック市内のコミュニティにて学校建設事業を実施する。	150 人
	未就学視覚障害者教育支援	本事業は、5年事業の1年目に当たる。事業全体の目的は、フィリピンの未就学視覚障害者への教育普及と社会参加の機会を創出することである。この目的達成のために、最終的にはフィリピン大学附属盲学校を建設し、教科教育と自立訓練を視覚障害者に提供することを目指す。1年目である今年度はフィリピン・ルソン島において、家庭訪問による未就学視覚障害者探しとその状況把握、リスト化を行う。	フィリピンの未就学視覚障害者
ケニア	FTC ネットワーク活動	リフトバレー州、ナロク南部県内のマサイ族及びキプシギス族コミュニティを対象に、教育支援、水源確保、栄養強化及び健康向上、女性の収入向上支援を行い、農村の生活環境向上と、子ども達の教育へ充実を図る。	500 人
スタディツアー	インド、フィリピン、	春休みや夏休みにフィリピンやインドの支援先を訪問し、現地の子どもや地域の人々との交流や、ボランティアを行うツアーの実施。貧困の中で生きる子どもの現状とその課題を学び、帰国後にその現状を伝えるにはどういった活動をしたらよいかについても考える。ツアーによってはホームステイプログラムもあり。 フィリピン：3月予定（中高生大学生、一般対象）、 インド：8が月末—9月予定（大学生、一般対象）	30 人
その他地域	FTC ネットワーク活動	FTC インターナショナルが行う上記以外の国（シエラレオネ、ハイチ、中国農村部、エクアドル、ニカラグアなど）の貧困農村地域への自立支援事業を FTC ネットワークとして取組む。	

(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

活動名 (担当部署)	活動実施内容	受益対象者の範囲及 び人数
個人情報管理	問い合わせを頂いた個人情報、組織情報の管理。 これまで活用していたアクセスからセールスフォースヘデータを移行し、メンバーサポートや資金調達のためにそれらのデータを活用をしていく。	-
問い合わせ対応	団体へのメール、お手紙、ファックス、電話等によるお問い合わせに対応する。	メンバー・一般
広報	①団体紹介パンフレットの再発行 ②学校・教員向け向けの案内資料の整備 →出張講演・テイクアクションキャンプ・スタディツアーの広報を強化する ③キッズパワーサポーターの新チラシの配布	メンバー・、一般

翻訳	海外からの資料を日本語に訳したり、日本語のものを英語などに翻訳して問題を提起し活動を紹介する。翻訳チームが作業をサポート。	メンバー・一般
資金調達	①寄付者へのお礼状の改定 ②キッズパワーサポーターの新規開拓 →現状：個人 77 名 年間 826000 円、法人 3 社 90,000 円 →目標：個人 100 名 年間 1,000,000 円 法人 6 社 180,000 円を目指す。 ③フリーザチルドレン同窓会と連携した資金調達の実施 ④自主事業（キャンプ、スタツア、出張講演、物販）の目標達成 ⑤企業との連携強化 ⑥助成金の申請	-
危機管理	メンバーが安全に活動できる環境を整えるためのチャイルドプロテクションの強化	メンバー
総務・労務	①事務所で活動するスタッフの労働環境の整備 ②就業規則の改定 ③税務署（税金、認定）、労働基準監督署、都庁資料作成、提出	事務局スタッフ及びメンバー
会計	全ての事業に関する資金の流れ、税金支払いなどを管理し会計面の説明をする。また、認定NPO法人の取得に伴う会計作業の整備と実施。	メンバー・一般
事務所運営	FTCJの全ての事業及び活動の拠点となる事務所の運営とそれに係る経費の管理。	メンバー・一般